

## バイオサイエンス学科 論文発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員および研究員、※は大学院生、卒研生または卒業生

題名	制振材を積層した自動車車体用パネルの減衰特性の有限要素解析(第三報 散逸エネルギーの分布を集約できるビード形状)
掲載雑誌	日本機械学会論文集 C編70巻699号3062-3069
著者	山口誉夫、竹前康德、黒沢良夫、松村修二
概要	全周縁固定、微小振幅の条件のもとで、最低次パネル共振を対象に、ビードパネルに非拘束型制振材を積層した場合の振動減衰問題を取り扱った。制振材の粘弾性特性を複素弾性率とし有限要素法を用いて解析を行った。ビードの諸元を変化させて、パネル表面上への制振材の最適配置を検討した。